

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

| | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|----------|-------------------|--|------|----------------------------|------------|-------------|
| 事業名 | 教育課程の基準の改善 | | 担当部局庁 | 初等中等教育局 | | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 昭和51年度 | | 担当課室 | 教育課程課 国際教育課 | | 教育課程課長 平林正吉 国際教育課長 中井一浩 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | Ⅱ-1 確かな学力の育成 | | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 学校教育法施行規則第55条等 | | 関係する計画、通知等 | 教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) 中央教育審議会答申(平成20年1月17日)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 現行の学習指導要領によらない教育課程の編成・実施を認める研究開発学校を指定し、新しい教育課程、指導方法等についての研究開発を行い、教育課程の基準の改善等に資する。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 学校における教育実践の中から提起されてくる教育上の課題や急激な社会の変化・発展に伴って生じた学校教育に対する多様な要請に対応するため、教育課程に関する研究開発を行う学校を「研究開発学校」として指定し、学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認めることにより、新しい教育課程・指導方法を開発するものである。当該実践研究にあたっては、文部科学省が研究開発学校の管理機関(学校を設置する教育委員会等)に対して、研究開発の実施を委託するものである。 | | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | | | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度要求 | |
| | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 148 | 125 | 125 | 109 | 98 | |
| | | 補正予算 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 繰越し等 | △12 | 0 | △2 | 0 | | |
| | | 計 | 136 | 125 | 123 | 109 | 98 | |
| | 執行額 | | 105 | 101 | 103 | | | |
| 執行率(%) | | 77.2% | 80.8% | 83.7% | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 目標値 (年度) |
| | 本事業による成果は、約10年ごとに行われる学習指導要領の改訂の際に具体的な実証的資料として生かされている。これまでの成果として、以下のようなものがある。 ・小学校「生活科」の導入(平成元年) ・「総合的な学習の時間」の導入(平成10、11年) ・高等学校「情報」「福祉」の導入(平成11年) ・小学校「外国語活動」の導入(平成20年) このため、本事業の成果は、年度毎の定量的なデータで示すことはできない。 | | 成果実績 | | - | - | - | - |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度活動見込 |
| | 研究開発学校の指定件数 | | 活動実績 (当初見込み) | 件 | 49 | 41 | 73 (47) | - (47) |
| 単位当たり コスト | 1,408,765 (円/件数) | | 算出根拠 | 単位当たりコスト=執行額/件数 | | | | |
| 平成23・24年度予算内訳 | 費目 | 23年度当初予算 | 24年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | 諸謝金 | 1百万円 | 1百万円 | 研究開発学校指定校数の見直し等のため | | | | |
| | 職員旅費 | 3百万円 | 3百万円 | | | | | |
| | 委員等旅費 | 4.5百万円 | 4.5百万円 | | | | | |
| | 庁費 | 0.5百万円 | 0.5百万円 | | | | | |
| | 初等中等教育等振興事業委託費 | 100百万円 | 89百万円 | | | | | |
| | 計 | 109百万円 | 98百万円 | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|---------------------------------------|------|
| | 評価 | 項目 | 特記事項 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・用途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | |
| | — | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | <p>事業年度毎に各事業者から提出される事業実施計画書(事業開始前)及び事業完了報告書(事業完了後)等において、各事業者における支出先・用途を把握し、経費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて提出書類のみでは確認が不十分な場合には、個別に問い合わせるなど、各事業者における支出先・用途の把握に努めている。平成22年度には、指定校の募集に際し、文部科学省として特に検討すべき事項を優先課題として示すなど、より効果的な研究開発が行われるよう改善を図っており、引き続き、効率的な予算執行に努めることとしている。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 一部改善 | <p>1. 事業評価の観点:この事業は、現行の学習指導要領によらない教育課程の編成・実施を認める研究開発学校を指定し、新しい教育課程、指導方法等についての研究開発を行い、その成果を、学習指導要領の改訂等に関する中央教育審議会の審議等に、実証的な資料として提供する事業であり、長期継続事業及び予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、昭和51年度から実施している長期継続事業であるが、学習指導要領等の不断の見直しを行う必要があることから、引き続き実施する必要がある。しかしながら、モデル事業においては、事業の成果・必要性・有用性についての検証を行うことにより、事業内容を再点検し、事業を再構築するなど改善すべきである。</p> | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| <p>この事業は今後も学習指導要領等の不断の見直しを行う際の実証的資料を得るため、引き続き実施が必要な事業である。23年度予算においては事業の再構築を行うなど、見直しを行った。24年度要求においても事業内容の精査に努めるとともに、事務的経費の効率化等を行い、概算要求に▲10,919千円反映した。</p> | | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| | | | |

文部科学省
103百万円

諸謝金、庁費 1百万円
職員旅費、委員等旅費 2百万円 } を含む

教育課程に関する研究開発を行う学校を「研究開発学校」として指定し、学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認めることにより、新しい教育課程・指導方法を開発するため、研究開発の実施を委託。

【公募・委託】

A. 教育研究開発事業委託(英語以外の指定校)
65百万円
国立大学法人・都道府県・市町村・学校法人 等
(全35機関)

学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認め、新しい教育課程・指導方法について研究開発を行う。

B・Cについては、事業仕分けの結果等を踏まえ、平成21年度に「英語教育改善のための調査研究事業」の指定を受けた学校の一部について、現行の教育課程の基準によらない教育課程を編成・実施し新しい教育課程等の研究開発を実施する場合は、平成22年度及び平成23年度に限り、研究開発学校として研究開発を実施することとしたものである。

【公募・委託】

B. 教育研究開発事業委託(英語に関する指定校)
35百万円
国立大学法人・都道府県・指定都市・学校法人 等
(全26機関)

現行の教育課程の基準によらない教育課程課の編成・実施も認め、小・中・高等学校等における英語教育に関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得るために研究開発を行う。

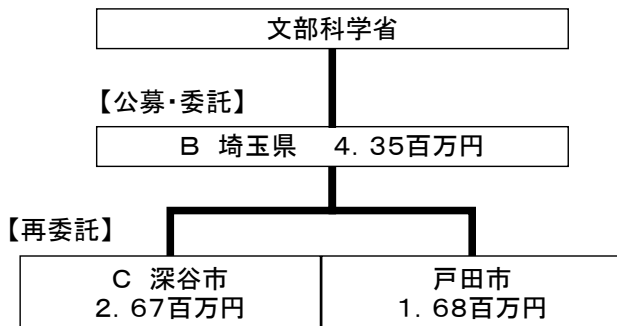
【再委託】

C. 市町村 21百万円 (全19機関)

現行の教育課程の基準によらない教育課程課の編成・実施も認め、小・中・高等学校等における英語教育に関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得るために研究開発を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

(埼玉県の場合)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

| A.大分県 | | | E. | | |
|-------|---------------------------------|-------------|----|----|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 旅費 | 各種会議講師旅費、文科省会議出席 旅費、先進地視察旅費等 | 1.3 | | | |
| 消耗品費 | 教材、書籍、コピー用紙等 | 0.9 | | | |
| 印刷製本費 | 報告書、教材等 | 0.9 | | | |
| 諸謝金 | 会議出席者金、講師謝金 | 0.2 | | | |
| その他 | 会議費、通信運搬費 | 0.1 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 3.4 | 計 | | 0 |
| B.埼玉県 | | | F. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 再委託費 | 講師謝金、印刷紙、プリンターインク 等 | 4.30 | | | |
| 消耗品費 | コピー用紙、ファイル等 | 0.04 | | | |
| 旅費 | 連絡協議会旅費、担当者会議旅費 | 0.01 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 4.35 | 計 | | 0 |
| C.深谷市 | | | G. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 諸謝金 | 講師謝金 | 2.40 | | | |
| 印刷製本費 | 深谷市英語教育ガイドブック等 | 0.10 | | | |
| 旅費 | 先進校視察旅費 | 0.09 | | | |
| 借損料 | 会場使用料 | 0.07 | | | |
| 消耗品費 | 英語教育雑誌 | 0.01 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 2.67 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

支出先上位10者リスト

A.教育研究開発事業委託(英語以外の指定校)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|--------------|---------------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 大分県 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 3.4 | 企画競争 | — |
| 2 | 国立大学法人上越教育大学 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 3.1 | 企画競争 | — |
| 3 | 八幡市教育委員会 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.8 | 企画競争 | — |
| 4 | 上三川町 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.8 | 企画競争 | — |
| 5 | 滋賀県 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.6 | 企画競争 | — |
| 6 | 箕面市教育委員会 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.6 | 企画競争 | — |
| 7 | 高山市 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.4 | 企画競争 | — |
| 8 | 国立大学法人新潟大学 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.4 | 企画競争 | — |
| 9 | 国立大学法人奈良女子大学 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.3 | 企画競争 | — |
| 10 | 国立大学法人福岡教育大学 | 現行の教育課程の基準によらない新しい教育課程等に関する研究開発 | 2.3 | 企画競争 | — |

B.教育研究開発事業委託(英語に関する指定校)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-----|-----------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 埼玉県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 4.35 | 企画競争 | — |
| 2 | 徳島県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 3.9 | 企画競争 | — |
| 3 | 北海道 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 2.5 | 企画競争 | — |
| 4 | 京都市 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 2.1 | 企画競争 | — |
| 5 | 岐阜県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 2.0 | 企画競争 | — |
| 6 | 栃木県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.3 | 企画競争 | — |
| 7 | 大分県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.2 | 企画競争 | — |
| 8 | 大阪府 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.2 | 企画競争 | — |
| 9 | 京都府 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.1 | 企画競争 | — |
| 10 | 宮城県 | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.1 | 企画競争 | — |

C.市町村(再委託)

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------|-----------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 深谷市(埼玉県) | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 2.67 | — | — |
| 2 | 戸田市(埼玉県) | 英語教育に関する教育課程等の改善に資するための研究開発 | 1.68 | — | — |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |